

令和5年7月吉日

保護者各位

市川市立第八中学校
校長 岡 良和

市川市立第八中学校 学校評価 結果報告

6月実施「学校運営アンケート」の結果を報告いたします。今回の結果を踏まえ、家庭・学校・地域の連携のもと、教育活動および教育環境の充実と質向上に役立ててまいりますので、ご理解ご協力くださるようお願いいたします。

なお、アンケート回収率は、66.2%(回答数389/生徒数588)です。ご協力に感謝申し上げます。

1 「結果の見方」について

- 表内の「評価項目」は、1「確かな学力」、2「豊かな心」、3「健やかな体」、4「信頼される学校」以上4つの項目ごとにまとめています。
- 「評価項目」は、市川市公立学校の共通項目に「学校で独自に設定した項目(項目1の4 項目2の4 項目4の6)」を加えています。
- 「評価結果(人)」は、評価項目の選択肢4, 3, 2, 1を選んだ合計人数です。
(選択肢: 4「そう思う」 3「どちらかというと思う」 2「どちらかというと思わない」 1「そう思わない」)
- 「評価の平均値」は、評価結果をポイント換算し平均値を示しました。平均値が、2.5より増えると4「そう思う」に近づき、2.5より減ると、1「そう思わない」に近づくことを示します。
- 4「そう思う」と3「どちらかというと思う」を選択した人数を評価項目について肯定的評価の割合とし、前回結果(令和5年12月)と比較しています。

2 「学校運営についてのご意見」について

- 4つの評価項目をさらに「内容」に分けています。具体的なお意見をいただき、ありがとうございます。
- お寄せいただいた個々のご意見は、原則そのまま掲載し、内容が重複するご意見は、「同()件」と紹介しています。
- 個人・団体が特定できるような記載等、内容により、一部を要約・割愛しておりますが、お寄せいただいたご意見の趣旨を精査したうえで、職員会議等で共有するとともに、対応について検討してまいります。

3 「学校運営協議会の意見」について

- 直近開催の協議会において「評価結果」について、ご協議いただいた内容を記載しています。

4 「現状の分析および学校運営の方向性」について

- 「学校運営協議会の意見」および教職員で協議したものを示しています。
- 個別案件については、学校全体で情報共有を図ります。そのうえで、「学校の役割」及び「学校ができること、できないこと」を総合的に分析・検討し、教育活動の中で改善してまいります。

1 「確かな学力」について

評価項目		評価結果(人)					評価の 平均値	前回と比較		
		4	3	2	1	計		12月	6月	
確かな 学力	1	お子さんは、授業がわかりやすいと言っている。	82	218	75	14	389	2.95	80%	77%
	2	お子さんは、わからないことを自分から調べるなど、いろいろなことに興味を持って学習に取り組んでいる。	67	170	116	36	389	2.69	62%	61%
	3	お子さんは、家庭学習の習慣が身についている。	96	146	100	47	389	2.75	62%	62%
	4	お子さんは、学校で個に応じた丁寧な学習指導を受けている。	57	188	123	21	389	2.72	66%	63%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
1	学習指導等	<p>A:定期テストの家庭での取り組み計画を指導していただいたのがありがたかったです。 A:理解度によるクラス分け。 A:日々、生徒に向きあっていただき、ありがとうございます。1年生の保護者ですが、事情により来られなくなった先生の代わりに、校長先生が授業をしてくださったのが、とても楽しかったと言っていました。先生方、学校は大変だと思いますが、先生方や学校として生徒の為に頑張っていこうという気持ちが伝わってきました。 B:授業でわからない内容を放課後に教えて欲しい。 B:子供の成績が上がらないので、欠点や弱点の補習など夏期休暇などでやってほしい。先生に負担のかからない程度でかまわない。(同2件) B:ミニテストの実施の定着化、定期テスト結果に応じた補習。授業によってわかりにくい教科があるようです。 B:成績を先生の主観で決めているのが多くて困る。先生も人間なので好き嫌いはあると思いますが依怙臆らくなく、きちんと判断出来るようになってもらいたい。子供の将来がかかってくる成績なので。納得出来るような説明をしてほしいと思います。 B:1年生は1年間でどれくらいテストがあるのか、年間行事を見ても分かりづらかった。例えば、到達テストは3年生だけ、と知ったのは最近です。入学時に説明があるといいと思いました。 B:定期試験の理科(及びその他教科)問題の不備に関して、教科担当の先生に限らず学校側としても今後間違いのないよう対策をお願いしたいです。(同1件) B:道徳の授業を増やすよう検討を。 B:勉強嫌いの子供でも、やる気(勉強)が上がるような家庭学習の課題を出して欲しい。 B:小学校の時に比べ、家庭学習の時間がかなり減りました。宿題を学校でやってよいことも関係しているのかもしれませんが、中学校になると、自主的に学習する習慣へシフトする方がよいと思いますので、家でも声かけを続けたいと思います。 B:同じ学年内で、違う先生が同一教科を教えているため、教え方によって、クラスの理解の差が出ています。 B:学習面での指導、進路指導 特に三年生は受験を控えているため、ベテランの先生に教えていただきたいです。 B:学校のPCでYou Tube を見ているのでせめてテスト前は持ち帰らせないで欲しいです。 B:学習タブレット、市内一律か不明だか端末自体の見直しと買い替えを希望。</p>

< 現状の分析及び学校運営の方向性 >

【全体分析】

■評価項目1～4の評価平均値が、2.78(前回 2.80)と同等であり、各項目の状況においても同様の傾向を示しております。教員の授業力向上を図るため、年度ごとの指導案検討および授業研究会に加え、生徒による授業アンケートを前後期ごとに各教科で実施し、教科担当が、授業実施効果を確認するとともに、ICTの有効活用を推進するなど、新学習指導要領が目指す「主体的・対話的・深い学び」のより一層の具現化により、生徒の「確かな学力」を育てまいります。

【部分説明】

■補習の機会として放課後、まなびサポーターが個別指導する「校内まなび塾」を開設し、希望する生徒が利用しており、今後も登録・利用が可能です。また復習機会として「単元の変わり目や定期試験前など授業時間内に復習時間をとる」「放課後の学習相談日を設定する」など、教科・学年それぞれで取り組んでおります。

■学習活動と観点別評価・評定について、各教科で設定した評価基準により行うとともに、教科特性に応じて通常授業および定期試験の前後などに繰り返し説明・指導しています。詳しくは、「7月4日発行：学校だより絆No.6」をご覧ください。

■6月に実施した定期試験1学年理科で、設問と解答用紙の不備があり、混乱を招いた箇所が複数見つかりました。そのため関連する問題は、生徒全員を正答扱いとすることとし、生徒に説明および答案返却したところです。さらに、不備がみられた問題に関連した内容について、小テストを実施し、生徒の学習成果をより正確に評価する資料としています。また、試験問題の点検方法について検討し、再発防止に努めてまいります

■学習用タブレット端末は、市川市および市川市教育委員会が入札・契約したものが各学校に配備・一括管理されています。今後、契約の切り替え時期に備え、端末の故障が少なく、操作性が向上するよう、関連設備・機種等の見直しを含む各種検討を行っていると同っております。

■学年の教科指導を複数の教科担当で受け持つことを、学級数と各教科の週あたり実施時数および教科担当教員数の関係から音楽、美術、技術・家庭科以外の教科で行っております。学年職員の構成および時間割作成上、様々な条件があり、現状の教科担当の配置となっております。

■進路指導について、進路希望調査および学級担任との相談内容をもとに、学年職員・各学年主任・関係部活動顧問他、関係職員、管理職により組織的に進めております。高校入試に用いる調査書の内申点等、記載事項の関係について、各学年で適切な時期に説明機会を設けています。

< 学校運営協議会の意見 >

◇アンケートの回収率を上げる工夫を考えたい ◇タブレット端末は、家庭学習に有効活用するために持ち帰るものであり、YouTube を見て勉強しない子は、タブレットがなくてもスマホがあれば、それを使って YouTube を見たり、ゲームをしたりするのではないか。家庭で、目的外に使わないように仕向けるのは、保護者の役割ではないか。◇家庭学習の習慣は、小学校の段階で身につくもので、中学校では自主性の部分が大きくなるのが妥当ではないか。

2 「豊かな心」について

評価項目		評価結果(人)					評価の 平均値	前回と比較		
		4	3	2	1	計		12月	6月	
豊かな心	1	お子さんは、友だちや近所の人などに、自分から進んであいさつをしている。	140	194	41	14	389	3.18	85%	86%
	2	お子さんは、自分の役割に責任を持って取り組んでいる。	180	182	22	5	389	3.38	94%	93%
	3	お子さんは、誰とでも優しく関わっている。	194	179	14	2	389	3.45	96%	96%
	4	お子さんは、いじめもなく友達と仲良く生活している。	214	162	11	2	389	3.51	95%	97%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
	教育相談	A:生徒一人ひとりに対しきめ細かくみて対してくれていると思います。A:ありがたいことに、学校に通いたい！という状況を作っただけだと思います。A:複数の小学校から来ているが関係無く子供は接していると感じているのでこの点は好ましく感じています。B:三者面談は子供がいない方がよいと思います。B:不登校含め休みが多いイメージがある
1	生徒指導	A:いつも子供のことをよく見てくださる先生方に感謝いたします。体育祭、コロナから少し抜け出し緩和され、大変、楽しく拝見いたしました。日頃から、先生方と生徒の皆さんの信頼関係がよく築けているとおもいました。A:子どもが新しい環境に馴染めるのか不安でしたが、毎日楽しく過ごしているようで、新しい友達との関係も良好のようです。まずは、学習以上に、学校生活を楽しみながら、基本的な生活習慣が確立できて嬉しく思っています。初めての定期試験は、イマイチでしたが、これから挽回できるように、背中を押して行きたいと思います。安心して通える環境に尽力していただき、ありがとうございます。 A:学校へ伺うと挨拶を自然に自発的にしてくれる生徒さんが多く、とても好感が持てます。小さな事ですが継続してほしい点です。B:以前身だしなみについて、受験の際に不利にならないよう配慮して指導しているとおっしゃっていましたが、ケープを使用しているか検査をする予定だと聞いています。日常に於いて見ただけで明らかにケープの使用が分からないから検査をするということだと思いましたが、見ただけで分からないのであれば受験の際に不利になることはなく、指導理由とは矛盾しています。世の中には自分の理屈とは違うルールに従わなければならない場面はたくさんありますが、子どもたちは大人の言葉の矛盾点を非常に気にしています。何かを行うのであれば、子どもたちにとって筋の通るものであることを願います。B:往復3キロあるので土日などだけでも部活動の登下校に自転車通学が出来るとよい。(同1件) B:先生方が胸襟を開いて、良い学校づくりや子どもたちの人格形成のために活発に議論してほしい。連帯責任をもとめたり、罰をあたえたりする教員がまだ八中にいるし、それを良くないと感じてもいえない空気が教員のあいだにあること。

< 現状の分析及び学校運営の方向性 >

【全体分析】

■前回同様、4項目すべてが、非常に高い水準で推移しており、評価結果では4「そう思う」の割合が高く「評価の平均値」を押し上げています。生徒会活動をはじめ、実行委員会活動、学級活動、部活動等により、生徒の主体性を伸ばすとともに自己肯定感を高めることで、豊かな心を育む学校体制の成果ととらえています。加えて、家庭・地域のご理解ご支援の賜物と感謝申し上げます。また、生徒指導上とくに心配な点が、SNS 関連のトラブルです。学校・家庭・関係機関が連携・連動してトラブル予防を図る必要性を強く感じております。昨年、11月には「いじめゼロキャンペーン」を展開し、SNS によるいじめを題材にした演劇をオーディションで選ばれた生徒俳優で上演したのち、全校道徳で班別・学級討議を実施し考えを深めました。今年度も同キャンペーンを継続し、先日、オーディションを行ったところです。今後も道徳教育および日常の生徒指導と合わせ、いじめゼロの啓発について、より一層推進してまいります。

【部分説明】

■あいさつ・言葉遣いをはじめ望ましいコミュニケーションスキルの育成に取り組んでいます。一例をあげると、登校時間帯に校門、生徒昇降口に教職員が立って生徒とあいさつや積極的な声かけをするなかで、一日が始まるのが日常となっております。

■不登校傾向の生徒や配慮が必要な生徒について、校内で毎週開催する「教育相談部会」に管理職・カウンセラー・養護教諭・学年担当者・生徒指導主事・特別支援教育コーディネーターが参加し、状況を把握するとともに適切な支援方法について協議しております。他にも毎学期、教育相談アンケートを実施し、個別面談を設定するなど生徒個々の悩みや心配に寄り添うための取り組みを継続しております。なお、カウンセラー、養護教諭をはじめ、お子様に関わる教職員で保護者・生徒からの相談を随時受け付けています。心身の不調・健康面などで配慮が必要なことについては保護者・生徒から個々に状況を伺い、適切な対応をとるようにしておりますので、遠慮なくご相談ください。

■昨年度、校則について、近年の社会情勢をふまえ、多様性を尊重する社会風潮に即したものに近づけるよう、検討・見直しを行いました。検討の際は、生徒の意見集約をもとに、各学級代表生徒と担当教員による協議を重ね、規則の必要性などを確認したところです。服装・髪型など生徒の身だしなみの扱いについては、高校入試の面接試験の実情および将来のリクルートスタイルも視野に入れ、日常から生徒の意識が高まるよう指導しております。なお、ケープの検査について、告知および予定は、今のところありません。

■中学生の自転車通学について、県内では学区が比較的広範囲にわたる地域で、路線バスの運行が少ないなど交通事情をふまえて認められているところがあります。市川市では、市南部にあたる行徳地区すべてを学区としている塩浜学園において、教育委員会が駐輪場施設を整備したうえで、一部生徒の自転車通学を行っていますが、それ以外の中学校では認められておりません。

< 学校運営協議会の意見 >

◇校則に、どこまで生徒の自由を認めるか、自由を求める際には、責任をともなうことが前提である。例えば、髪型と整髪料を自由にした場合、生徒の中には、休み時間にトイレの鏡の前にたまり、ヘアスタイルを直す生徒が増え、トイレを使いたい人が使いづらくなるのが心配される。また、スマホ持ち込みを自由にした場合に、紛失したり、SNS のトラブルが起きたりしたら、生徒が自分で責任をとれるのか。校内で起きたら学校に責任を求めるのか。リスクマネジメントの面を十分に配慮し、生徒と教員で、相談し、両者が理解して改善して行くことが必要である。

3 「健やかな体」について

評価項目		評価結果(人)					評価の 平均値	前回と比較		
		4	3	2	1	計		12月	6月	
健 や か な 体	1	お子さんは、すすんで(外で遊ぶなど)体を動かしている。	136	91	116	46	389	2.81	58%	58%
	2	お子さんは、自らの安全(交通事故・けがなど)に気をつけて生活している。	188	193	7	0	388	3.47	95%	98%
	3	お子さんは、規則正しい生活習慣(睡眠・食習慣など)が身につけている。	122	171	83	13	389	3.03	72%	75%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
1	健康安全	B:体育館の冷暖房の設置を検討して頂きたいです。 B:給食が美味しくないといつも言っています。メニューの改善や味付けなど工夫頂けたらありがたいです。 B:弁当持参日が多いが、食中毒の懸念もある為給食提供ない日は短縮日課検討を希望。 B:こどものマスク、どうにかありませんでしょうか？みんながしてるから外せないみたいです。熱中症など気になります。 B:平田小でも採用している登下校通知システム(ツイタもん)の導入を検討していただきたいです。

< 現状の分析及び学校運営の方向性 >

【全体分析】

■生徒の健康増進と体力向上について、「評価の平均値」で3項目平均 3.08(前回 3.01)とくに項目2, 3で、向上傾向が表れています。項目1について、学校での主な運動機会は、「体育授業」「運動部活動」「昼休みの外遊び」などですが、一昨年度から体育委員会が昼休みの外遊びの啓発を続けています。望ましい生活リズムの習慣化について、例年、保健給食委員会による「生活習慣チェック」や「アウトメディアデー」の取り組みで調査・啓発活動しております。

【部分説明】

■市川市の給食の状況ですが、八中を含む市内中学校の半数には給食室が設置されておられません。その場合、近隣の小学校で大量の食数提供が可能な設備がある給食室で調理した給食を中学校に提供する「親子方式」を採用し、八中は、平田小学校給食室から給食提供を受けています。平田小では小・中学校合わせて約1200名分を市が委託した専門業者が10名前後の調理スタッフで準備しています。食の安全性が最優先となりますが、栄養価の基準に留意するとともに、食育の観点から、献立表にあるように様々な食文化と味覚に触れられるように豊富な食材を使用し、手作りを基本に出汁も素材からとるなどの手間をかけています。小学校と中学校で献立内容は、ほぼ同じですが、一食分の材料、調味料等の分量が異なり、別々に配缶し、中学校分を保温コンテナに詰めて配送トラックに乗せて、運んで、降ろすといった手間と時間を要する作業を行います。また、小学校で日常的に、給食室からおいしそうなお匂いがしてきたり、出来立ての料理が提供されたりという学校給食の醍醐味がありますが、親子給食ではその点が満たされないハンディキャップがあります。担当者によりますと、限られた食材価格と調理時間の制限の中でやり繰りしており、「あと少し、食材費と調理時間があれば、もっと手の込んだ献立が可能になる」とのことです。

■市川市では、災害時に避難所に使用する学校体育館にエアコンを設置する計画を準備中と伺っています。

■マスク着用について、今年度当初に、「個人の判断で行ってよいこと」「個々に事情があってマスクをしている人もいますので、他者のことは気にしないこと」を全体指導しております。着用の状況は、教室では、ほとんどの生徒が着用しており、運動時や登下校時など場面に応じてマスクをとる生徒が増えています。

< 学校運営協議会の意見 >

◇部活動で活発に運動する子、文化部その他で、運動機会が少ない子の二極化がみられるのではないかと。運動部でない生徒が積極的に昼休みに外遊びをするなど工夫されたい。◇給食について、前回会議で、給食を試食したが、給食は、季節感があり、栄養価も考えてあり、多くの委員がおいしい感想をもった。保護者向けの給食試食会を検討してはどうか。◇週5回のうち、米飯4回、パン・麺類1回が原則である。そのため和食が多くなり、肉より魚が多くなっていないか。魚が苦手な子が多く、口に合わないと言っていることも考えられる。◇給食費が無償になったことは市政の努力が伺える。

4 「信頼される学校」について

評価項目		評価結果(人)					評価の 平均値	前回と比較	
		4	3	2	1	計		12月	6月
信頼される学校	1	107	226	46	10	389	3.11	88%	86%
	2	92	237	49	11	389	3.05	87%	85%
	3	96	240	46	7	389	3.09	91%	86%
	4	73	197	106	13	389	2.85	68%	69%
	5	85	215	75	14	389	2.95	79%	77%
	6	163	194	26	6	389	3.32	93%	92%

No.	内容	A:「好ましく感じていて継続してほしい点」・B:「物足りなく感じていて検討してほしい点」
1	情報発信・情報共有	A:ブログは普段の様子が見えるので、続けていただきたいです。体育祭や校外学習等、生徒たちが主体的に取り組んでいることが多く、またその様子がブログ等で発信されており、保護者も知ることができてありがたいです。(同10件) A:修学旅行のブログ掲載が頻りにされていて楽しんでいる様子や順調に行程が進んでいるのが逐一分かって見ることが楽しかった。(同1件) A:ホームページで毎日の報告があるのが良いと思います。校内の様子がわかり、身近に感じられます。これからも楽しみにしています。(同1件) A:HPでの学校での様子や休日での部活動迄伝えて頂き何時も楽しみに拝見させて頂いております。ありがとうございます。A:学校ホームページに日々の生活が載っている。たまにしか見ないので、遑って一気に見たりするけど、あると無いとでは全然違うので、有難い。校長が、毎日生徒や学校に興味を持って見回ってくれているんだと思うと、安心します。先生方も見られているという意識が出るのかもしれない。A:八中ブログは、これからもぜひ継続して頂きたいです。きめ細かい眼差しで生徒を見てくれる校長先生、大変有り難いです！ A:アプリ、メールでの細かい情報発信と欠席等連絡ができる点。

1	情報共有	<p>A:HPのブログで日々の様子を窺えるようになって良いと思う反面、学校だより・学級通信等のプリントをHPで閲覧できるようになると助かります。子どもから渡されなかった対象物(プリント類)を探してみるものの「無い。残念！」 B:ペーパーレスがとても不便。配信されても見ない事が多くなった。見返す事も無いので、内容が記憶に残らない。 B:スキットメールに連絡をいれても、ほとんどが学校確認待ちになっていますが、確認いただいているのかがわかりません。また小学校と年齢も違うので、そこまで丁寧にはみていただけないのかもしれませんが、欠席した際のフォローがないのは、時々不安になります。</p>
2	行事	<p>A:いつもお世話になっております。学校全体から活気あふれて、一致団結を感じた体育祭です。御指導ありがとうございました。 B:体育祭で使用したハチマキの色(水色と青)が分かりづらかった。来年以降変更した方が良いと思う。 B:体育祭のタイムスケジュールがずれ過ぎだった。それを調整する為とはいえ、炎天下の中、生徒達を放置していたのは得策とは言えない。幸い熱中症になった人はいなかったが、それはあくまで結果論であって正しい熱中症対策が取られていたとは言い難い。 B:体育祭について、今年、下の子が通う稲荷木小の運動会と同じ日に八中の体育祭があり、八中の体育祭を観に行くことができず大変残念に思いました。あくまで市で指定された通学区に通わせているわけで、兄弟間でブロックの異なる小中学校に通学する家庭があることも考慮して頂きたいと思います。 B:体育祭でPTAやボランティアスタッフの方が沢山サポートをして下さったのは有り難いが、振る舞いで幾つか目に付く点があったのが残念だった。(保護者立入禁止エリア内の私用スマホ撮影、日傘をさしている方を注意しない、保護者立入禁止エリアに少しだけ侵入して日陰で休んでいる方には注意するが自分たちは日陰で固まって雑談していた等) B:①行事毎の間隔が短い点、先月末運動会、市内学習、県民の休日を挟んでテスト実施(近隣中学では先月下旬に実施)予定が詰まり消化しきれないのでは。 B:3年の一学期に体育祭と修学旅行があり、修学旅行から一週間も経たない内に定期試験があった。試験勉強にかけられる時間が少ない中、試験前に修学旅行の振り返りのような宿題もあった。短期間に色々と詰め込みすぎているように思う。1学期の成績はこの1回の定期試験で決まるが、この成績で推薦評定を満すかどうかが決まる高校もあるため、この成績が非常に重要になってくる。修学旅行が試験日をずらした方が良かったのではと思う。 B:体育祭の練習はあのボリュームで必要なのでしょうか。他にやるべき授業などに時間を使っても良いのではないのでしょうか。 B:今年はせっかくの県民の日が定期テストの前日になって残念でした。博物館などの施設が無料で見学できる機会なので、できれば定期テストの日程と重ならないように調整していただきたいです。 B:体育祭のことですが、今更ながら、競技の始めにアナウンスがないのでいつ始まるか分からずやきもきました。また、あの日は日差しが強く保護者は立ち見でしたので過酷な参観でした。先生方はテントの下で羨ましかったです。子供たちも保護者同様、強い日差しの下で心配でならなかったです。 B:体育祭や鶴風祭、修学旅行の写真はカメラマンが撮影しているようですが、その写真を販売して頂きたいです。</p>
3	部活動	<p>B:部活の予定表が遅く、予定が立てづらいです。 B:部活動の活動時間が短いこと B:部活の顧問がほとんど来ない。忙しいの言葉だけで、来れなくても(行かなくても)仕方ないのが当たり前になっている。相談したくても声をかけれるタイミングがない。 B:年度初めの部活保護者会での校長先生の話が長すぎてびっくりしました。簡潔にして頂きたい。実務連絡の話をこちらは聞きに行ってるので、変えて頂きたいです。 B:休日の部活動中などの、緊急の連絡の際、学校の連絡先が必要と考える。</p>
4	その他	<p>○:いま社会問題になっている、先生方の仕事量や負担が気がかりです。いつも本当にありがとうございます。○:昨年度末に先生方が大勢移動になり、何か問題があったのか等不安を感じた。(たまたまだったのかもしれませんが) ○:担任にものすごく物足りなさを感じている。心配りが出来てないように思う。</p>

< 現状の分析及び学校運営の方向性 >

【全体分析】

■評価項目1～6について、昨年度から継続して高い水準で推移しています。本校学校教育活動へのご理解ご協力について、改めて感謝申し上げます。この状況がさらに充実するように「チーム八中」として努力を継続してまいります。「学校運営方針:信頼される学校」の項目では、「八中ブランド力の強化」をお示しておりますが、そのために、より一層の家庭・学校・地域の連携・協働を図ってまいります

【部分説明】

■八中ホームページに令和3年7月にアクセスカウンターを導入し、アクセス数の経過観察を続けています。アクセス数は、年々増加が続いており、令和4年4月の平均は、一日約1,300アクセスでしたが、今年度6月の平均では、一日約2,900アクセスに増加しています。生徒数約600名の学校ホームページとしては、非常に多くの方々に閲覧していただいていると認識しています。八中ブログでは、「学校の魅力発信」をテーマに生徒活動やお役立ち情報等をアップしております。学校行事や部活動の大会・コンクールの結果速報等の「いいね！」カウンターの状況から興味・関心の高さが伺えます。「いいね！」については、生徒の承認欲求を満ちし、自己肯定感の向上につながることも「八中ブランド力の強化」をねらっています。引き続き、日々のブログチェックと「いいね！」カウントアップをお願いいたします。

■学校配布の手紙類のデジタル化について、これまで学校だより、学年だより等を八中ホームページにPDFをアップしております。学校だよりについては、ブログ紹介、メール配信、プリント配布を併用してお知らせしています。紙プリントを希望するご家庭は、学級配布プリントをご利用願います。また、これまで政府並びに県・市教育委員会など行政機関等から周知・広報依頼があったものを学校だより等の文書配布やメール添付で行っていたものを内容に応じて八中ブログによる周知に変更するなど、ペーパーレスおよび教職員による印刷配布の時間的コスト軽減のため、文書等のデジタル化を進めています。今後も文書配布・メール配信・学校ホームページによるお知らせと情報発信の方法・回数・量の扱いについて、お知らせする内容や重要性および緊急性等に応じて調整してまいります。

■体育祭学級カラーのハチマキは、販売店の在庫数が不足したため、やむを得ず今回の配色となりました。次回から改善できる見込みです。

■学校から電話で家庭連絡する場合として、個々のケースの内容や程度により異なるため、細かな基準は設けておりませんが、主として次のような例があります。「欠席連絡がないが、登校していないため安否確認する。」「体調不良やケガのため、早退・通院・事後措置等について相談する。」「心身の健康面で心配な点が目立つため配慮の必要性について伺う。」「生徒同士のトラブルなど、家庭と連携して指導・対応する必要性が認められる。」なお、スキットメールで入る欠席連絡は、メールへのフォローがない場合でも、毎回複数の教員でチェックし、生徒の登校状況と突き合わせて出欠確認を行い、所在不明生徒のご家庭に安否確認のための電話連絡をしています。

■「児童見守り安心システム:ツイたもん」は、市川市教育委員会が、市内小学校に一括導入しております。児童が登下校で校門を通過する際にICタグを読み取り、保護者に知らせるシステムです。今のところ中学校に導入する計画は明らかになっておりません。また、市教委には、本アンケートにあったご要望について報告しております。なお、登下校の安全確保に関連して、特別な場合に限り、ご家庭と相談のもとで携帯電話の持ち込みを認める場合がありますので、担任を通じてご相談ください。

■一学期の行事日程ですが、八中ブロック3つの小学校および稲荷木小との体育祭と運動会日程の重なりについては、例年、調整作業をしており、その結果、稲荷木小と同日開催を回避できた年度もありました。しかし、ブロックをまたぐ小中学校間の行事調整は難しく、六中ブロックの他の小学校も関係します。また、高校入試関連行事等との関係から、一学期に実施している行事が、修学旅行、定期試験、体育祭です。修学旅行日程は新幹線修学旅行列車指定制度があるため2年前にJRから乗車日を指定されます。そのうえで、体育祭と定期試験の日程を準備期間を考慮して設定するとともに関係の小学校と体育祭・運動会の日程を調整しているのが現状です。

■体育祭の練習日程は、これまでプログラムのスリム化と合わせ、年々縮小を重ね、現状に至っています。今回の種目数・プログラム内容で行うためには、必要最小限の練習設定としています。

■体育祭の暑熱対策について、午前・午後合わせて4回の水分休憩および午前中に「中休み」として、エアコンを効かせておいた教室に戻り長めの休憩時間をとることとしています。参観保護者には、昼食時間帯に体育館を利用させていただいております。また、次年度以降、体育館の利用時間について、検討の余地があると考えております。なお、当日の暑さ指数(WBGT)が、高い場合は、個人種目をカットするなど短縮プログラムに変更して行うことを想定しております。今回、当日の暑さ指数(WBGT)は、15:00のピークで「24:注意レベル」であったことから通常プログラムで実施いたしました。

■市川市部活動ガイドラインにより、練習時間は平日2時間、休日3時間以内(休息・準備・片付け時間を除く)となっております。

■部活動について、生徒・保護者が寄せる期待・関心は大きく、それに費やす時間・エネルギーも甚大なものと認識しております。そして、顧問教員は、部員の成長を願い情熱を傾けて指導にあたっております。そのため、年度初めの部活動保護者会では、新入学して初めて部活動を経験するご家庭も多いことから、部活動の位置づけと現状・課題について、ご理解いただきたく、校長から説明いたしました。その趣旨は、親子共通の感動体験を通して、お子さまに、心身ともにたくましく成長していただきたい、そのために「保護者は、チームのサポーターの意識で応援していただきたい」ということでした。加えて、ご家庭と学校で共通理解が必要な次の4点をお伝えしました。①学校部活動は生徒が主体的に取り組む活動と規定されていること。②顧問教員の勤務時間外の指導(朝練、夕方、休日・練習試合等)は、大部分を無償で行っているが、事故対応などの責任が課されていること。③部内の先輩、後輩、その保護者の望ましいコミュニケーションが重要であること。④教員の働き方改革の必要性から、政府が部活動の地域クラブ活動への移行を示したこと。なお、説明時間が長大とのご指摘をいただいたことから、次の機会では内容を一層精査してお伝えしてまいります。顧問の指導機会について、多くの顧問教員は、放課後の各種会議、教育相談、生徒会指導などの合間時間をやりくりして指導にあたり、部活最終下校後に持ち授業の提出物の点検、成績処理、行事準備等を行っている現状があります。

■緊急の場合の学校連絡について、時間外・休日等は、原則として留守番電話を設定しています。また、学校PHSの連絡先を期間指定でお知らせする場合がありますが、通常対応とはなっておりません。原則として、生徒には、携帯電話の学校への持ち込みを禁止していますが、特別な事情により、休日部活動の際、臨時に持たせる必要が生じた場合には、部活動顧問まで、ご相談願います。

【その他】

■近年の報道にありますように、教職員の多忙化による超過勤務の増加や部活動顧問の負担増大などの要因により、教員を目指す若者が減少傾向にあり、教員養成大学の入試倍率低下や教員採用試験の倍率低下などの影響がみられます。その結果、療養休暇・産育休の代替講師のあてがない、といった状況が、全国的に常態化しています。本校でも、欠員が生じた場合は、代替講師が見つかるまでの期間、他の教員がその業務を負担して生徒の教育活動に影響することがないように対応してまいります。しかし、教員不足の状況が長期に渡れば、教職員は、さらに疲弊し、健康を害する教員の増加が予測されます。教職員のこれ以上の疲弊を防ぎ、持続可能な学校運営のために、より一層の働き方改革、業務の効率化による負担軽減は、本校においても重要な課題のひとつです。

■令和4年度末の教職員人事異動は例年に比べ、多くの異動がありました。その要因として、新規採用から5年間および2校目から7年間の規定年限にあたる教員と定年退職者が多かったことに加え、学級数が減ったために学級数に応じて配置される増置職員枠が減ったこと、県費および市費講師の異動等が重なったことがあげられます。

■行事の写真販売について、修学旅行、校外学習の写真の業者によるネット販売を行っています。

< 学校運営協議会の意見 >

◇ブログによる情報発信の姿勢は、素晴らしい。地域住民としても学校の様子がよくわかり興味深く拝見している。◇体育祭等、学校行事では、「保護者は、サポーター」の意識で参加してほしい。保護者用のテントを望む声があったが、設置する労力は、学校では限界があり、設置後は、強風など天候により、急な片付けなどの対応が必要になることもあり、管理が必要となる。理想としては「保護者が使うテントは、借りてきて設営・管理し、返すのは、当事者が、保護者サポーターとなり、自らの手でやります」という趣旨の提案があってもよいのではないかと。◇私立学校の体育祭、自治会のお祭りなどでテント設

置をイベント業者に発注するケースをよく見る。費用をかけることも検討してはどうか。◇テントに限らず、地域学校協働本部の活動で支援できる部分があれば積極的に関わりたい。先生の負担軽減を保護者と地域で真剣に考えていかなければ、学校教育活動が持続困難に陥る心配が大きくなっている。◇この夏休みに学校給食調理室のエアコン工事が入る。その後、学校体育館のエアコンの計画に移るだろう。しかし、市営のクリーンセンターと斎場が、建て替え時期を迎えており、行政判断に委ねるところである。

学校運営協議会は、公開している会議であり、傍聴が可能です。傍聴者が増え、学校運営についてご理解を深めていただくことが、学校教育活動の質向上に有益と考えておりますので、今後も積極的な傍聴参加をお願い申し上げます。会議日程および傍聴については、学校(担当:教頭)までお問い合わせください。